

トピックス3 ^{だいじょうきゅう} 大嘗宮の建立に伴う良質皮付き丸太供給

(北海道森林管理局・関東森林管理局・中部森林管理局)



- 静岡県 浜松市（はまつし）
天竜（てんりゅう）区
瀬尻（せじり）国有林
（旧宮内省帝室林野局所管の御料林）
- 伐採したスギ丸太の材質を確認する様子

- 長野県 北佐久（きたさく）郡
軽井沢町（かるいざわまち）
浅間山（あさまやま）国有林
- カラマツ丸太を選木する様子

北海道森林管理局、関東森林管理局、中部森林管理局では、令和元年11月14、15日に皇位継承に伴う儀式として挙行された「^{だいじょうさい}大嘗祭（大嘗宮の儀）」の施設である大嘗宮の建立に当たり、宮内庁からの依頼を受けて、良質な皮付き丸太（約180 m³）の供給を行いました（完成した大嘗宮の写真は75ページ参照）。

皮付き丸太の生産・供給に当たっては、北海道^{りくべつちよう}陸別町及び^{みなみふらのちよう}南富良野町や静岡県浜松市天竜区、長野県軽井沢町に位置する国有林に生育するヤチダモやスギ、カラマツを活用し、伐採・搬出・保管にいたるまで細心の注意を払いました。具体的には、通直な木の選木作業、傷がつかないように配慮した伐倒、土場での材質の確認、丸太保管における養生管理等に取り組みました。これらの作業について、林業事業者や関係者と協力し、良質な皮付き丸太の生産を行うことができました。

今後も、多様な森林を有している国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が難しい木材の供給に取り組んでまいります。